

2019年6月20日

MORI Building DIGITAL ART MUSEUM: EPSON teamLab Borderless 《オープン1周年》世界160カ国以上から約230万人が来館 世界の人々から選ばれる、東京・日本の新たなデスティネーションに

森ビル株式会社とチームラボが共同で運営する「MORI Building DIGITAL ART MUSEUM: EPSON teamLab Borderless」(以下、当館)は、2019年6月21日(金)にオープン1周年を迎えます。

“Borderless”のコンセプトのもと、季節によってうつろう作品群や境界なくつながる世界は、ここでしか得られない『他者と共に創る体験』『身体をつかった能動的な体験』として来館者に驚きと感動を与え続け、オープン1年で、世界160カ国以上から約230万人の動員を達成しました。年間約230万人の来館者数は、東京国立博物館や金沢21世紀美術館など、日本の名だたる美術館・博物館に並ぶ記録です^{※1}。約230万人の来館者のうち、訪日外国人割合は約50%^{※2}に達しています。さらに、当館が実施したアンケート調査によると、来館した訪日外国人のうち約50%^{※3}が当館を目的に東京を訪れたことが明らかになっています。

当館は東京・日本の新たなデスティネーションとして、臨海エリアの活性化にも大きく貢献しています。オープン後、最寄り駅である新交通ゆりかもめ「青海」駅の乗降者数は前年比で約1.5倍に、隣接する商業施設「ヴィーナスフォート」の入館者数は約1.2倍に上昇しました。

※1 総合ユニコム株式会社『月刊レジャー産業資料』2018年9月号、業態別・主要有料施設の年間入場者数トップ10「ミュージアム」部門データに基づく

※2 公式ウェブサイト チケット購入者データより(調査期間:2019年2月16日-6月7日)

※3 来館者を対象に実施したアンケート調査より(調査期間:2018年10月25日-11月2日)、回答者数1,237人



これからも訪れる度に新たな発見や変化を体験いただけるよう、新作等も発表していく予定です。

引き続き、2020年とその先に向けて、世界中の人々を国際都市・東京に惹きつける「MORI Building DIGITAL ART MUSEUM: EPSON teamLab Borderless」にご期待ください。

【本件に関するお問い合わせ先】

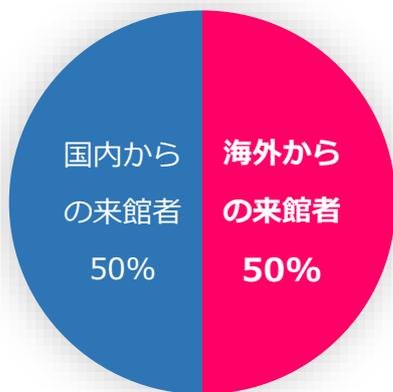
MORI Building DIGITAL ART MUSEUM: EPSON teamLab Borderless 広報事務局
(株式会社サニーサイドアップ内) 担当:伊東、蛭川

Tel: 03-6894-3200 Fax: 03-5413-3050 E-mail: borderless@ssu.co.jp

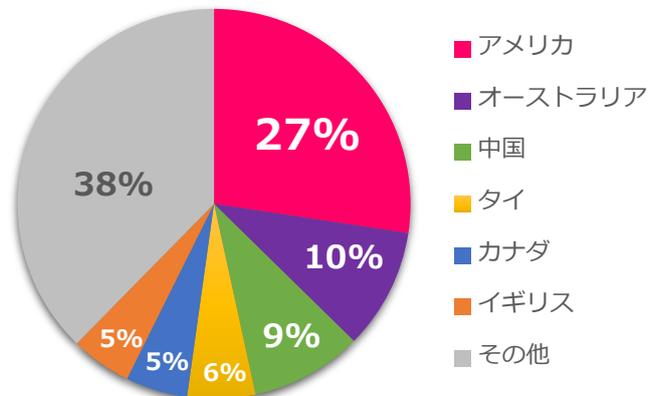
来館者の訪日外国人割合は約50%

年間約 230 万人に占める訪日外国人割合は約 50%に達し、160 ヶ国以上におよぶ世界の国・地域から多くのお客様にお越しいただきました。訪日外国人の国・地域別割合は、1 位アメリカ、2 位オーストラリア、3 位中国、4 位タイ、5 位カナダ、6 位イギリスと、近隣諸国のみならず、遠方の国からのお客様が多いことが特徴です。また、当館が実施したアンケート調査によると、来館した外国人のうち約 50%が当館を目的に東京を訪れたことが明らかになっています。なお、年間約 230 万人の来館者数は、東京国立博物館や金沢 21 世紀美術館など、日本の名だたる美術館・博物館と並ぶ、国内トップクラスの記録です。オープン当初は、約 3 ヶ月にわたって前売りチケットが完売。現在でも開館前に数百名以上の待ち列ができる等、平日・休日を問わず、世界中から多くのお客様にお越しいただいています。

訪日外国人割合



訪日外国人の国・地域別割合



文化・アートので臨海エリアの活性化にも大きく貢献

当館が誕生したことで、お台場を含む臨海エリアへの来訪者が大幅に増加しました。最寄り駅である新交通ゆりかもめ「青海」駅の乗降者数は前年比で約 1.5 倍、隣接する商業施設「ヴィーナスフォート」の入館者数は約 1.2 倍に上昇しました。当館は、臨海エリアに従来とは違う新たな客層を呼び込み、周辺施設を含むエリア全体の回遊性を向上させ、臨海エリア全体の活性化に大きく貢献しています。

青海駅乗降客数



ヴィーナスフォート入館者数



近隣ホテル グランドニッコー東京 台場 宿泊部長 佐藤 司様のコメント

森ビルデジタルアートミュージアムの開業によって、臨海副都心地域への来街者が国内外を問わず増加し、お台場地域の活性化を実感しています。当ホテルと連携したチケット付き商品宿泊プランやランチプランにも非常に多くの反響をいただき、売り上げも好調に推移しています。引き続き、世界の人々のデスティネーションとして臨海副都心の軸となっていくことを期待しています。

オープン1周年に際して寄せられたコメント

東京都知事 小池 百合子様

開業1周年、誠におめでとうございます。様々なスペシャリストの方々による、これまでに類を見ないこのアート施設は、世界中の人々を惹きつけてやみません。私も、光と音と映像がミックスされた刺激的な空間で、アートの中に溶け込む感覚を直接味わいました。毎日、国内外から多くの方が訪れ、お絵かき水族館やアスレックスでは子供たちが目を輝かせて楽しんでいると聞いています。未来を担う子供たちの素晴らしい体験の場であり、国際都市・東京の大きな魅力である、このミュージアムの活動に深く敬意を表します。2020年に向け、今後も世界から注目を集めるワクワクする展示を期待しています。

文化庁長官 宮田 亮平様

開業1周年、そして、この1年間で230万人の方が来場されたとのこと、おめでとうございます。チームラボの作品は以前より拝見しており、海外での常設展示施設を訪れたこともあります。日本でも拠点ができないかと望んでいたところ、開業の報を受け、実現されたことを嬉しく思ったものです。1年前の開業に際して、文化庁はタイアップし、広く学校や文化施設等へのポスター・チラシの配布を行いました。この紙面に「文化の未来は無限大」というフレーズを添えました。私もいち早く体験させていただきましたが、他に類のない最新のデジタル表現のなかにも日本の伝統が組み込まれた世界観が表現されており、「境界のないアートの世界」を体現する作品群は、まさしくそのフレーズを感じさせるものでした。じつは、先日、文化庁の「記念物100年」事業との連携企画が発表されました。これからも、この日本初の常設デジタルアートミュージアムが文化の未来を無限大に開いていく文化発信拠点であることを期待しております。

観光庁長官 田端 浩様

この度「MORI Building DIGITAL ART MUSEUM: EPSON teamLab Borderless」が開業1周年を迎えますことを心よりお慶び申し上げます。2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催を控え、外国人観光客数4,000万人の政府目標達成が視野に入ってきております。インバウンドの旅行スタイルが「モノ消費」から「コト消費」へと変化する中、日本の参加型デジタルアートが国内外の多くの方の心を惹きつけていることを大変喜ばしく思います。関係者の皆様の御努力に敬意を表すると共に、今後の益々の御発展を祈念いたしまして、私からのお祝いの言葉とさせていただきます。

美術館概要

名称 :MORI Building DIGITAL ART MUSEUM: EPSON teamLab Borderless
 (森ビル デジタルアート ミュージアム:エプソン チームラボボーダレス)

場所 :東京都江東区青海1-3-8 お台場パレットタウン

料金 :大人(高校生以上)3,200円、障がい者割引 1,600円、子供(4歳~中学生)1,000円
 ナイトパス(18:00から入館できるエントランスパス ※7/13(土)~9/1(日)のみ)は、
 大人(高校生以上)2,900円、障がい者割引 1,500円、子供(4歳~中学生)1,000円
 ※障がい者割引の対象は、障がい者手帳をお持ちの方ご本人様と同伴者1名まで。

開館時間 :月~金 10:00 - 19:00、土・日・祝 10:00 - 21:00 (7/13(土)~9/1(日)の期間中は、全日10:00 - 21:00)
 ※最終入館は閉館の1時間前

休館日 : 第2・第4火曜日 (ただし、6/22(土)・8/10(土)は特別休館日。8/13(火)は特別営業日)

公式サイト: <http://borderless.teamlab.art/jp> ダイジェスト映像: <https://youtu.be/UYFWjUj4RPQ>